

## 機械学会埼玉ブロック行事②

### 講演会「メカ不思議！ロボットとからくり人形の競演で楽しく学ぼう！」

「機械の日」のイベントの一環として、2010年7月24日(土)13:30から東洋大学白山キャンパス井上円了ホールにおいて、「メカ不思議！ロボットとからくり人形の競演で楽しく学ぼう！」を実施した。

第1部では、「ロボットを学ぶ」と題して松元明弘教授(理工学部)に講演して頂いた。講演では、ロボットのサッカーW杯「ロボカップ」の世界大会決勝戦のVTRを示しながら、現在と過去の自律型サッカーロボットの進化の過程を解説して頂いた。また、研究室で開発しているヒューマノイドロボットのデモンストレーションを通して、ロボット研究の楽しさについて説明して頂いた。

第2部では、「からくり人形を学ぶ」と題して夢からくり一座に実演をして頂いた。実演では、鯨のヒゲをゼンマイにもちいた仕掛けで動く180年前の茶運び人形、世界に5体しかない筆書き人形など、多数の貴重なからくり人形の実演と、人形の仕掛けや人形を修復したときの苦労話などをお話頂いた。

第3部では、松元研究室の自律ロボットと江戸時代のお茶運びロボットの競演となった。競演では、からくり人形と現代のロボットを比較し、現代のロボットは、センサ情報を利用して環境変動に対応できるところが、からくり人形と異なると説明して頂いた。また、からくり人形の歯車の巧みさや芸術的な美しさについても解説して頂いた。

最後は、参加者が自由にステージに昇って頂き、貴重なからくり人形やロボットを間近で見学して頂いた。そして、参加者はからくり一座の担当者や松元研究室の学生たちに熱心に質問し、普段は見ることのできない江戸時代の技巧と最先端のロボット技術を体感した。



日時 2010年7月24日(金) 13:30～16:00

場所 東洋大学白山キャンパス井上円了ホール

参加者 60名

(報告 東洋大学・山田和明)